

平成24年度 事業報告書

<総括的概要>

平成24年4月、当財団は、公益法人改革に伴う新制度への移行により、「一般財団法人ファッション産業人材育成機構」として新たなスタートを切った。

次の10年を見据えた改革の初年度として、基幹コースを中心に、カリキュラムの見直し、改編を図り、魅力ある講座編成・運営を推進した。7月には、財団設立20周年、スクール開講15周年の記念イベントとして、150名のご来賓を招待して「感謝の集い」を開催した。

平成24年度 事業活動概要

I. 事業実施状況

実施事業

継続1事業

基幹プログラム

●マスター・コース（全日制1年間）

ファッション・ビジネスの基本を総合的、体系的に学ぶ、全日制一年間のコース。

24年度は、「海外研修」を従来の3コースから「欧州研修」の1コースに絞ることにより、受講費用を低減した。また、講座内容も「メディア・コミュニケーション」や「業態開発講座」など時代に合った新しいカリキュラムを積極的に導入し、魅力ある講座編成にすることにより、受講生増を目指したが、前年と同じ7名。

●プロフェッショナル・コース

夜間半年間全20回のコース。現場実務者向けの実践コース。昨年は震災の影響で大幅な受講者減となったが、24年度は前年比16名増の147名。

講座名	期間	開催日
「ファッションMDの基礎」	4～9月	月曜日
「アパレルMDの実践A」	4～9月	水曜日
「アパレルMDの実践B」	4～9月	木曜日
「リテールMDの戦略立案と運営」	4～9月	火曜日
「ファッションMDの基礎」	10月～3月	月曜日
「アパレルMDの実践A」	10月～3月	水曜日

「アパレルMDの実践B」	10月～3月	木曜日
「リテールMDの戦略立案と運営」	10月～3月	火曜日

●マネジメント・コース

ファッション関連企業の中堅幹部向けコース。ワークショップを取り入れた実践的なカリキュラム。百貨店、商社など既存派遣元企業については継続動員が出来、前年度の15名から17名に増えたものの、新規派遣先の獲得が出来なかった。

講座名	期間
事業改革プログラム 「既存事業の改革プランの立案」	5月・6月 (6日間)
事業創造プログラム 「新規事業創造プランの立案」	1月 (6日間)

●エグゼクティブ・コース

経営者および経営幹部向けのコース。夏季セミナーは一泊二日の合宿形式。24年度は(株)オオゼキの八十川社長をゲスト講師にお迎えし、「成熟産業におけるイノベーションとは」というテーマで実施。受講者数は前年と同じ16名。

2月の「エグゼクティブ・フォーラム」は、25年度4月にIFIビジネス・スクール特別顧問に就任予定の花崎氏の講演会を開催。幅広い業種から105名のトップマネジメントが参加。

テーマ	期間
EXC「変革への挑戦」 —新しい視点によるビジネスの再創造—	7月7・8日
EXF「日本のファッション産業を元気にする会」	2月7日

●特別プログラム

特定分野を深耕する為の、短期集中講座。

テーマ	期間
・実践ビジュアル・マーチャンダイジング	6月/11月
・次世代の商業施設戦略	5月・6月/10月・11月
・ライフスタイルの新しいステージ	11月～1月
・e-Learningで学ぶ「素材の基礎知識」	4月～8月/10月～2月

地方開催講座

プロフェッショナル・コースの全日5日間版を、大阪と札幌で開催。

●大阪講座

テーマ	期間
「実践マーチャンダイジング」	5月～6月 全5日間
「実践マーチャンダイジング」	10月 全5日間

●札幌講座

テーマ	期間
「実践マーチャンダイジング」	10月～11月 全5日間

●大学講座

大学名	学部	講座名
青山学院大学	青山スクार्ट教育機構	感性ビジネス講座 ファッション産業のフロンティア
青山学院大学	青山スクार्ट教育機構	感性ビジネス講座 ファッションビジネス戦略論
明治大学	商学部	ファッション・ビジネス論
東京経済大学	経営学部	産業特論Ⅰ・ファッションのマーケティング
日本女子大学	家政学部	ファッション・ビジネス戦略論
同志社大学	経済学部	クリエイティブ産業論
目白大学	社会学部	ファッション・ビジネス戦略論
横浜市立大学	国際総合科学部	ファッション・ビジネス戦略論
首都大学東京	都市教養学部	ファッション産業の現状
合 計		8大学

●ファッション産業説明会（ファッション・ビジネス・ガイダンス）の開催

繊維ファッション産業への就職を目指す学生を対象に、無料で説明会を開催。

この説明会は、繊維ファッション産業の現状や構造を解説するとともに、優秀な学生にこの業界に就職してもらうのが狙い。平成24年度は、8回開催し、延べ324名の学生が参加した。

継続2事業

●アドバイザー委員会

I F I が運営する講座の内容や運営手法について、意見やアドバイスを発信する委員会で、

平成25年度の講座改革に向けた会議を1月・3月に実施。

●調査・資料収集

図書および資料の収集並びに一般への公開

ファッションビジネスの研究に有益な図書および資料等を収集し、整備充実を図り、広く一般に公開。

その他事業

他1事業

●カスタムメイド・プログラム

- ・ 「マーチャンダイジング基礎セミナー」
- ・ 「ファッション・ベーシック・トレーニング」
- ・ 「素材・商品・MD研修」
- ・ 「素材・商品・MD研修」
- ・ 「新入社員研修」
- ・ 「産地研修」
- ・ 「MD研修」

他2事業

●調査・研究事業

	会員	開催
平成24年度「I F I 繊維ファッションビジネス研究会」	30社	10回

1. 「研究会」を選択と集中

繊維ファッション産業を取り巻く環境が激変する中で、「旧来の常識を打ち破るイノベーション」が、各業種の各段階で求められている。I F Iでは他業種を含む各分野で、実績を積み重ねている第一人者から直接話を聞くことで、参加者が刺激を受け、所属企業などに戻って次のステージに進むことができるよう、平成23年度に研究会を立ち上げた。2年目の24年度は複数の研究会を同時進行したが、限られた時間の中でロスも多かったため、各研究会の選択と集中を行い、1年間の会員制で10回の講演と2回の交流会を行う「I F I 繊維ファッションビジネス研究会」と、スマホや多機能携帯端末の急成長が業界にどのような影響を与えるかを解明する「I F I ネット・ビジネス研究会」に集約する準備を進めた。

2. 繊維ファッション産学交流会議への参加

繊維ファッション産学協議会主催、経産省・文科省後援の第19回「繊維ファッション産学

交流会議」が11月に開催された。IFIの専務理事が、産学交流会議実行委員会のメンバーで、繊維ファッションに係わる産業と学校関係者の交流を深めるのが目的。今回は小売、アパレル、デザイナーの発表者に対してコーディネーターが意見を述べる形に内容を一新、終了後に交流会が開催された。

3. 主要講座構築への情報収集と分析

繊維ファッション産業の動向や、取り巻く環境変化などに関する情報を収集し、講座の組み立てや案内状などに反映。

●情報提供事業

1. ホーム・ページによる情報発信

各コースや研究会の募集告知、内容などを定期的に紹介、結果等をホーム・ページで発信。

2. 人材マネジメント懇話会の開催

繊維ファッション企業の人事担当者を対象に、関心が高いテーマを取り上げ、講演と終了後の意見交換などで、人材育成の環境整備やネットワーク構築に努めた。7月27日に30万人を超える全従業員に教育を徹底しているイオンリテール(株)の前川浩司教育訓練部部長、3月21日にはLVMH モエヘネシー・ルイ ヴィトン・ジャパン(株)の遣田重彦取締役、「戦略的意思決定と人事」をテーマに、外資系企業における意思決定から人事部の機能、人事管理、業務評価システム、採用や賃金管理まで、忌憚ない話と意見交換が行われた。

3. マスコミ懇談会の開催

マスコミとの懇談会である「一木会」を、偶数月の第一木曜日を基本に開催し、IFIの活動に対する理解向上を図るとともに、積極的に情報発信を行った。現状は織研新聞、WWD、繊維ニュース、アパレル工業新聞、近代縫製新聞、通販新聞、月刊ファッション販売、日本経済新聞などが参加している。

4. 広報活動の充実

広報活動は、従来の案内状送付もさることながら、メールの活用や、訪問して責任者に直接理解を得ることが重要で、要員の増強も含めて検討中。

●交流・協力事業

1. 経済産業省、文部科学省に協力

経済産業省が推進している社会人の人材育成に対する意見や、文部科学省が文化学園に委託している「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」に委員として参画。

2. 墨田区との共同事業の推進

墨田区は本財団の最大の出捐元であり、地元の繊維ファッション企業も多くが出捐している。墨田区との連携を一層強化していくため「墨田区・IFI連絡協議会」を定期的に開催しており、エグゼクティブ・コースと地域開催講座を除く全ての講座を、「ファッション産業人材育成支援事業」(半額補助)の対象にいただいた。また今年度は、全日制マスター・コースで「すみだプロジェクト」を新講座として立ち上げ、その第一弾として6月に「配財(廃材)プロジェクト」に参加、第二弾として1月に墨田区の錦糸小学校で出張授業を行った。新年度は

「中小企業都市サミット」を13年ぶりに墨田区で開催するため、マスター・コースの学生がボランティアスタッフとしてお手伝いする方向で検討しており、10月に予定されている「墨田区モノ・コト市」でも協力すべく準備を進めている。